# 興産信用金庫は、2023年（令和5年）3月23日 創立100周年を迎えます。

1923年
有限責任興産信用組合
として創立

戦前の出資証券

1954年
新聞広告
PR活動の宣伝カー

本店内の
営業場

1949年
定期預金

1983年
創立60周年

1993年
創立70周年では
シンガポール旅行を実施

1989年
大田市場がオープンし、
大田市場営業部が開店

大正12年に日本橋区元大工町（旧地名）で興産信用組合として産声を上げ、その年の9月、関東大震災により事務所が倒壊し苦難のスタートとなりました。

大正14年に小石川区音羽町（旧地名）に事務所を開設、昭和2年の昭和恐慌を乗り越え、昭和8年に神田区紺屋町（旧地名）に独立事務所を新設しました。太平洋戦争における空襲で焼失しながらも、その後再建を目指し、現在の千代田区神田紺屋町に本店本部を構えました。

そして、昭和26年に信用金庫法が制定され、興産信用金庫となりました。

高度成長期からオイルショック、バブル景気とその崩壊、様々な社会の変容の中、地域の皆さまの熱いご支援を受けると共に、堅実な金庫経営をおこなってきたことで「興産」の名前を変えることなく現在に至ります。

## 新たな100年に向け、興産信用金庫は歩み続けます。

## 100周年記念事業における地域貢献活動

11 住み続けられるまちづくりを

持続可能な社会の実現に向けて、千代田区内を運行している乗合バス"地域福祉交通「風ぐるま」"にラッピング車両の広告を掲載しました。公共交通輸送のご支援に取組ませていただきました。

12 つくる責任 つかう責任

飲食店支援に向け
クーポンブックを作成しました。

11 住み続けられるまちづくりを

都営神保町駅
駅構内広告を
掲載しました。

※鉄道会社や駅係員へのお問い合わせはご遠慮ください。

8 働きがいも経済成長も

全役職員一同
ネックストラップを付けて
お客様をお出迎え
しています。

6 安全な水とトイレを世界中に

オリジナルラベル
ミネラルウォーターを制作しました。

持続可能な社会の実現に向けた定期預金を
取扱っています。

100周年特設サイトを
制作しました。

100周年記念事業において、
お客様への感謝を表すとともに、
本部・営業店の全役職員で
地域貢献活動に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

興産信用金庫は、令和4年1月4日
"SDGs宣言"をいたしました。
持続可能な社会の実現へ向けて
金庫創立100周年事業に
取組んでいます。

100周年 ロゴ キャッチコピー

100th

とこしえに紡ぐ絆

繋がったふたつの輪と、それを結ぶもうひとつの輪。
100周年を記念して誕生したロゴマークは、興産信用金庫が
お客さまと紡いできた「絆」を表しています。